

Weekly Report

(2013年9月第3週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週 (9/9 - 9/13) の動き

週末に 2020 年のオリンピックの開催地が東京に決定したことから、月曜日の日経平均株価は 1 万 4,000 円を回復して取引を開始した。その後、ロシアのプーチン大統領が「シリアの化学兵器を国際管理下に置く」提案を行い、米国の武力介入が避けられる可能性が浮上し、日経平均株価は 1 万 4,500 円台に乗せる場面もあった。しかし、その後は日本の消費増税が予定通り行われるとの報道や、17,18 日に行われる FOMC を前に株価は伸び悩んだ。日経平均株価は前週末比+3.92%の 1 万 4,404 円で一週間の取引を終えた。

セクター動向の上昇トップは、東京での五輪の開催により都市整備が進むことから建設業となった。また、資産価格の上昇を見込んだ倉庫や株式市場の活況から証券などが買われた。下落は、原油価格の下落の影響から鉱業、そして、日経平均の銘柄入れ替えで有力候補ながら採用が見送られた任天堂が寄与度トップであるその他製造の 2 つとなった。スタイルインデックスでは小型株の上昇が目立った。

ドル円は 100 円を回復する場面もあったが、定着は出来ず、一週間のレンジは 99 円から 100.61 円となった。金曜日の 15 時時点は 99.87 円と、前週末日で 70 銭程度の円安となっている。

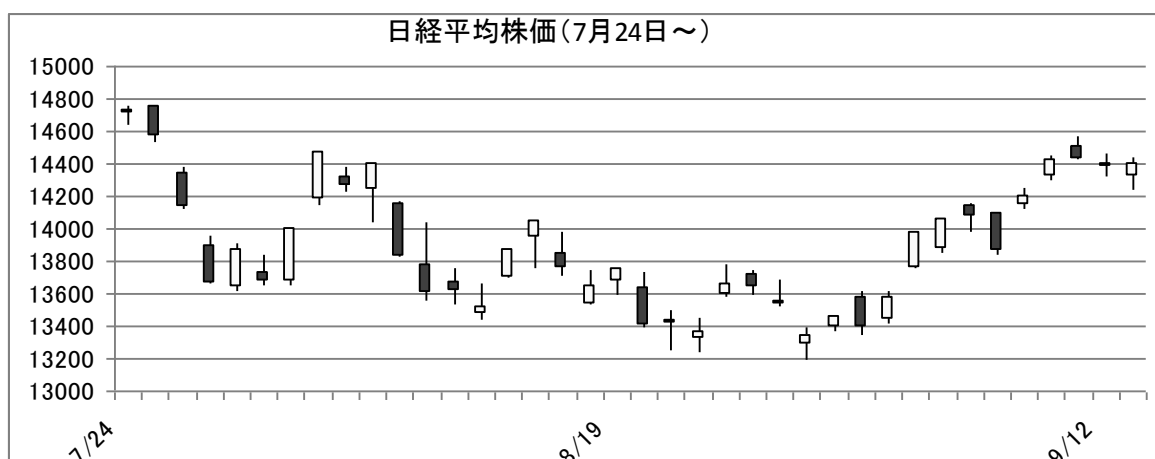
セクター動向(先週末比)		各種国内株式指数動向(先週末比)	
建設業	9.20%	マザーズ	10.07%
倉庫運輸	7.51%	REIT 指数	7.33%
その他金融	6.84%	TOPIX スモール	5.33%
機械	6.23%	東証 2 部	4.29%
空運	6.12%	日経平均株価	3.92%
証券商品先物	6.05%	ミッド 400	3.84%
鉱業	-1.39%	TOPIX グロース	3.32%
その他製品	-0.47%	TOPIX	3.26%
化学	0.79%	TOPIX バリュースコア	3.21%
医薬品	1.11%	コア 30	2.86%
輸送用機器	1.28%	TOPIX L70	2.51%
ゴム製品	1.58%		

今後の注目材料

今週の注目材料は FOMC だ。資産購入額の縮小が決定されるかどうか注目が集まる。市場では 100 億ドルの減額が予想される。これと同額の決定ならば、株価への影響は無いだろう。債券利回りも低下すると考えているが、万が一、債券利回りが大きく上昇した場合、株価の調整が 1, 2 週間続くと思われ、即座に買いに入るのは避けたい。

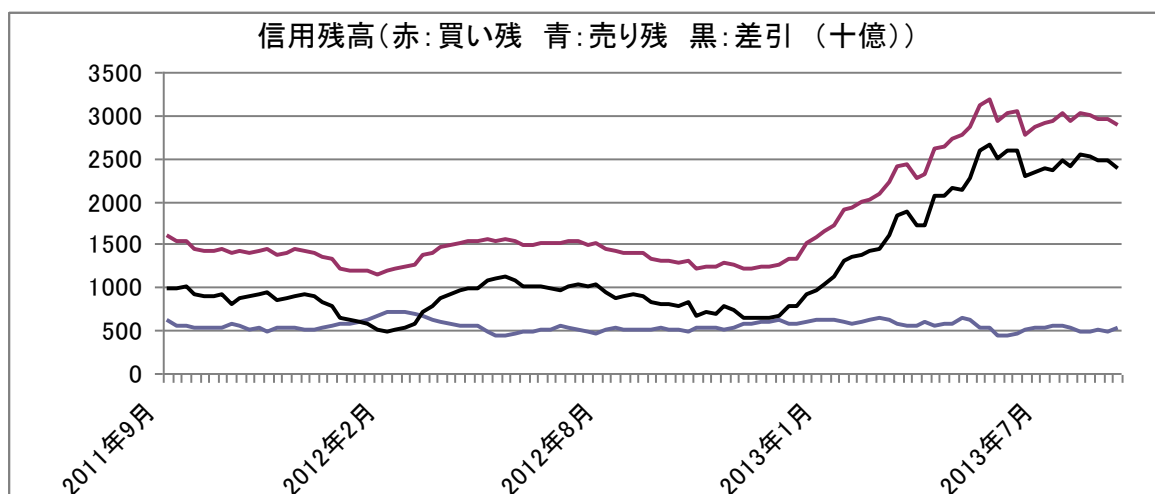
シリア問題、日本の消費増税と経済対策も相場を動かす材料となろう。シリア問題に関しては、アサド大統領は化学兵器を国際管理下に置くことにすでに合意したようだ。米国も武力介入を避けることが出来、良い方向に向かっている。しかし、内戦は続いており、再び問題が発生する可能性もあるため、内戦という根本的な問題の解決が待ち望まれる。日本の消費増税に関しては、8%への増税が決定したかのように報道されている。それとセットで経済対策が 5 兆円打たれることや法人減税などが行われる見込みで、近くその周辺セクターが再び盛り上がり始めるだろう。

その他、FRB の新議長の発表が行われる可能性もある。



需給動向 (前週分)

投資主体別売買動向は、3週ぶりに海外投資家が買い越しとなった。投資信託は買い越しを継続している。個人は大幅な売り越しとなった。信用買い残高は減少、裁定残高は大きく減少した。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/9/6	100.05	-98.00	47.25	-8.54	39.20	-363.02	207.54
2013/8/30	-42.30	46.71	16.02	24.58	21.56	57.64	-106.78
2013/8/23	-61.09	32.83	29.29	54.06	-16.88	-36.44	-11.17
2013/8/16	-80.30	111.69	35.57	26.85	-3.26	-45.07	99.60
2013/8/9	-212.62	227.50	40.78	60.96	18.47	197.14	-101.02
2013/8/2	-72.99	93.13	98.84	33.15	88.82	-116.92	-20.47
2013/7/26	17.15	-8.30	10.56	4.28	-71.59	84.71	-50.98

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会